

## 平成30年度 学生海外研修報告書 (担当教員)

鹿児島大学長 殿

授業担当者

所属/職名: グローバルセンター/教授

氏 名: 中谷 純江

授業科目名	海外研修基礎コース in カリフォルニア
研修先(国・地域) 滞在地	ソノマ州立大学 他(米国・サンフランシスコ、ソノマ)
研修期間	平成30年9月2日～平成30年9月16日
<p>〔研修の成果〕</p> <p>本研修の目的は、グローバル化が進む中で生じている問題への地域社会の取り組みについて学ぶことにある。グローバル課題が最も先鋭的な形で現れている米国で貧困問題、高齢化、多文化主義の3つをテーマとする研修を行った。中国系移民の町チャイナタウン、メキシコ系移民の多いミッション、LGBTの拠点カストロを訪問した他、低所得者やホームレスが多い地区にある教会でのボランティアに参加した。日本総領事館を訪問し、現地の政情や社会状況について話を伺う機会を持つこともできた。これらを通して、カリフォルニアの移民が築いてきた多様な文化に触れたり、サンフランシスコ市のホームレスの現状と民間団体の取り組み、市民一人ひとりの考え方や問題への関わり方について学ぶことができた。日系移民の高齢者への支援団体も訪問し、老人ケアや介護の分野でも文化的差異が重要な問題となっており、様々なコミュニティに対応した支援が必要なが分かった。介護の分野でも文化的差異が重要な問題となっており、様々なコミュニティに対応した支援が必要なが分かった。サンノゼ日本町では日系移民の歴史や町の現状について学ぶことができた。日系アメリカ人が経験した差別や収容所送りは、現在のメキシコ移民やイスラーム教徒移民に対する排除や迫害を許すべきでないという声明の基盤となっていることが分かった。</p> <p>次の1週間は、ソノマ州立大学でグローバル課題への地域への取り組みをテーマとする講義を受け、地域の活動についてフィールド調査を実施した。セバストポールという小さな町の交流団体によって、ホームステイ先や訪問先のアレンジを支援していただき、学生一人ひとりが充実した研修を行うことができた。英語力の強化地域課題の理解、リーダーシップの重要性など、グローバルに活躍する際に自分に足りないものを明確に認識し、今後、鹿児島で取り組んでいくための目標を具体化できたと確信している。昨年度に引き続き、今年度の学生も、カリフォルニア森林火災への募金活動や鹿児島を紹介する活動を行う機会を得た。現地の消防署に募金を届けることができ、2つの地域をつなぐことができたことを、本研修の大きな成果として挙げたい。</p>	
<p>〔今後の課題〕</p> <p>セバストポール市との交流やソノマ州立代学との連携をさらに進め、本学学生を受け入れてもらうだけでなく、双方向の交流へ発展させるよう尽力する。</p>	